

経営比較分析表（令和元年度決算）

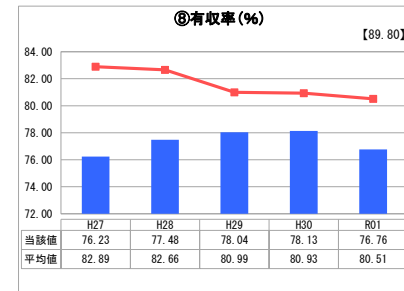
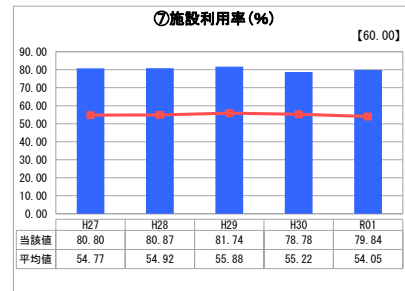
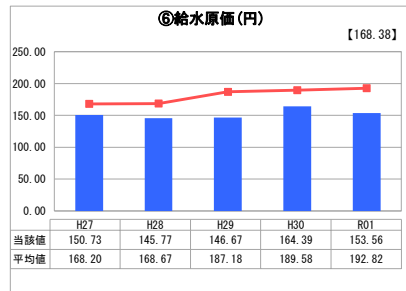
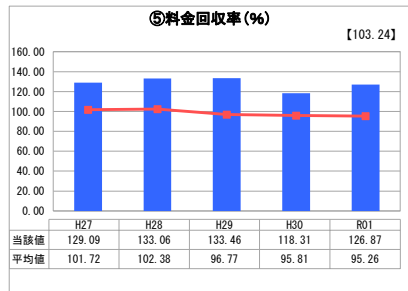
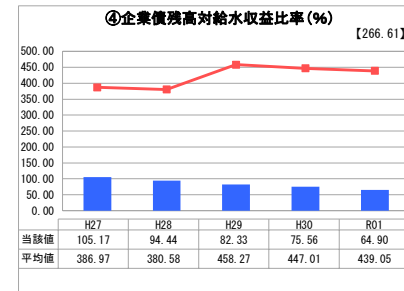
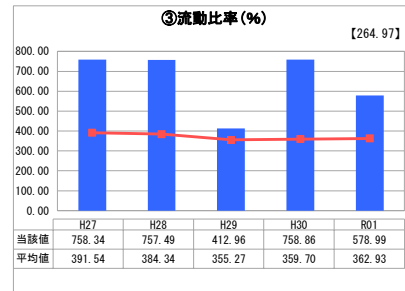
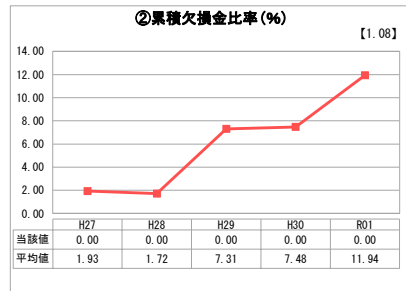
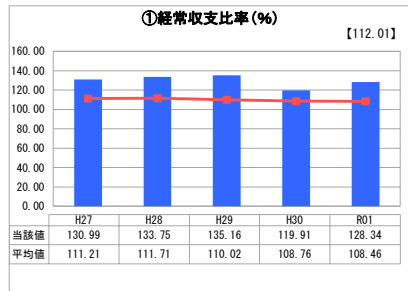
宮崎県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	88.24	91.68	3,828	

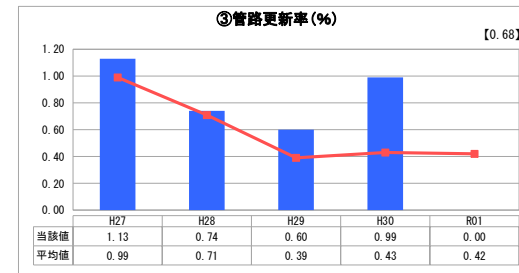
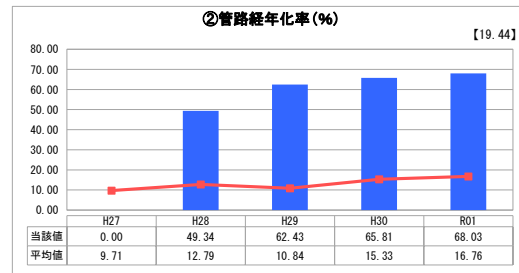
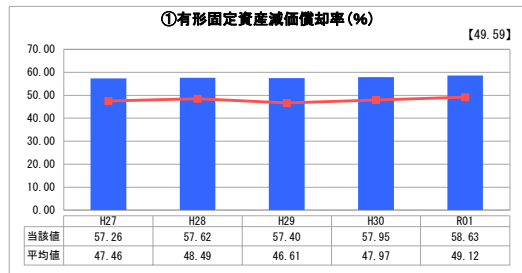
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,642	90.12	173.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,272	54.90	259.96

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率**
経常費用が経常収益によって賄われており、収支は健全な状態にあります。
- ②累積欠損金比率**
累積欠損金は無く、健全な経営状態にあります。
- ③流動比率**
短期債務に対する支払い能力は確保されています。長期的な資金計画を策定し、更新工事平準化を実施しています。
- ④企業債残高対給水収益比率**
近年は建設改良費の財源を企業債に頼らず実施してきたことにより、償還に伴い、割合が減少しています。
- ⑤料金回収率**
経営に必要な経費を料金で賄えています。
- ⑥給水原価**
平均値よりも低い状況にあり、費用効率に配慮した健全経営を保持する必要があります。
- ⑦施設利用率**
給水人口に対する配水能力が低い場合、平均値よりも高い数値となっています。今後の人口推移と水需要動向を考慮する必要があります。
- ⑧有収率**
老朽管割合が高いため、有収率は低い数値となっています。漏水調査や配水管更新により維持管理強化の必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率**
施設の老朽化の度合いを表します。平均値と比較して高く、固定資産の79.0%を占める構築物の老朽化が進んでいます。また、18.2%を占める機械及び装置について、耐用年数が短期のものも多いため、計画的な更新の必要があります。
- ②管路経年率**
平成28年度より該当管路（40年経過）が発生し、管路全体の約68%を構成しています。今後更に管路の老朽化が進むため、計画的な管路更新が必須となっています。
- ③管路更新率**
管路更新（既存老朽管の更新を含む）の平準化を平成27年度より実施しています。長期的な資金計画を策定し、機械・電気・計装設備についても計画的な更新を実施しています。

全体総括

有形固定資産減価償却率が平均値よりも高く、今後とも上昇する傾向にあり、施設の老朽化が進んでいることを示しています。

また、有収率が低く施設利用率が高い原因は、漏水等の無収水量が多いことが考えられます。このため、漏水対策と効率性を高める必要があります。更新計画の策定と安定して水を供給できる施設等の構築が求められています。

現在、経営状況、財政状況は比較的良好ですが、平成30年度に策定した経営戦略を基本に施設・管路の更新や耐震化に投資していく必要があります。今後の資産管理や最適化が重要課題となっています。

なお、令和2年度からは、掛迫簡易水道事業及び赤石飲料水供給施設を上水道に統合します。